
その幻想を

棒人間

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

その幻想を

【Nコード】

N8598Z

【作者名】

棒人間

【あらすじ】

男が夢をみます。

少女がみせます。

そんなお話。

マッチ売りのちびっ子（前書き）

机にマッチ箱が有ったので思い付き連載。

数話で終る予定です。

マッチ売りのちびっ子

「おにたん、おにたん。」

薄暗くなり始めた通りに小さい子がいた。
迷子だろうか。

「君どうしたの？お母さんとかは？」

「んとね、おじいちゃんにおいてかれちゃったー。」

なんて酷い奴なんだ。
孫を捨てていくとは。

「でもねー、大丈夫なの。はい！これおにたんにあげる。」

マッチを1本貰った。

…んー、どうすれば良いんだろう。
とりあえず礼を言う。

「うん、お家帰ったらシュツてしてみてー。」

うんうん、シュツてするよー。

マッチを改めてしげしげと眺めた。

…これ先が黄色だけど大丈夫だよな？

一抹の不安を残したがポケットにしまった。

「あれ？おーいマッチの子ー？」

マッチの子も無いもんだと思ったが名前を訊いてないのでしょうがない。
マッチの子は跡形も無く居なかった。
まるで霞の様にふわりと消えていた。

このマッチは一体…。
先が黄色なのでかなり怖い。
西部劇なんかで柱とかにマッチを擦り付け、煙草に火を着ける場面なんか有るが、あれは黄リンと言って自然発火してしまう上猛毒という危険物なのだ。

「…着けてみるか。」

あんな小さい子がそんな危ないもの持つてる訳が無いという理由で着火。

理由になつてないとか知らない。

直後意識を失った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8598z/>

その幻想を

2011年12月27日00時52分発行